

2025年6月3日  
株式会社サンヴィレッジ

**系統用蓄電池設置及びFIT太陽光発電所における  
蓄電池併設工事に関する基本合意書の締結に関するお知らせ**

株式会社サンヴィレッジ（本社：栃木県足利市、代表取締役：三村 挑嗣、以下「当社」）はジャパン・インフラファンド投資法人（本社：東京都中央区、執行役員：佐々木 聡、以下「本投資法人」）が資産の運用を委託する資産運用会社であるジャパン・インフラファンド・アドバイザーズ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役：佐々木 聡、以下「本資産運用会社」）と「系統用蓄電池設備設置及びFIT太陽光発電所のFIP転換（蓄電池併設）工事に関する基本合意書」（以下「本件基本合意書」といいます。）を本日付で締結することを決定しましたので、お知らせいたします。

本件は、当社が中部・関西エリアにおいて開発・設置工事を進める系統用蓄電池設備に関し、本投資法人が取得を前提とした専属的な交渉について合意に達したものです。系統用蓄電池は、再生可能エネルギーの出力変動緩和や電力系統の安定化に寄与するものであり、今後の電力供給において重要な役割を果たすことが期待されています。こうした背景のもと、当社と本資産運用会社は、引き続き系統用蓄電池に関する事業の推進に向けた協議を継続してまいります。

また、再生可能エネルギーの導入が全国的に拡大するなかで、電力系統の不安定化や出力制御の頻発が課題となっており、特に九州エリアでは出力制御の実施が顕著です。このような現状を踏まえ、当社と本資産運用会社は、本投資法人が所有する九州エリアのFIT太陽光発電所について、FIP制度への転換とあわせて蓄電池の併設工事を実施することについても協議を進めることで合意しております。

当社は、2012年の創業以来、「地域との調和と協調」を重視し、「安全・安心な発電所の実現」をポリシーとして、北関東を中心に太陽光発電所の開発・建設を行ってまいりました。近年では、非FITによる開発も推進し、再生可能エネルギーの新たな展開に注力しております。さらに、全国各地において系統用蓄電池の開発・建設を積極的に展開しており、今後250か所・合計出力500MWの蓄電池導入を目標に掲げています。

今回の基本合意は、再生可能エネルギーの更なる普及と、それに伴う電力系統の安定化に資する重要な取り組みであり、脱炭素社会の実現に向けた一歩となるものです。今後も当社は、本資産運用会社と連携しながら、再生可能エネルギーの安定的な供給体制の構築に貢献してまいります。

【系統用蓄電池イメージパース】



【サンヴィレッジ】

社 名：株式会社サンヴィレッジ

代 表：代表取締役 三村 挑嗣

所 在 地：栃木県足利市寺岡町 351 番地

事業内容：太陽光発電所、系統用蓄電所の開発と再生可能エネルギー事業

会社ホームページ：<https://sunvillage-co-ltd.com/>

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社サンヴィレッジ 東京本部

TEL：03-6810-2685

[info@sunvillage-co-ltd.com](mailto:info@sunvillage-co-ltd.com)